

## IV

## 教育学部での履修

### 1 教育学部の目的・教育目標

教育学部は、小学校、中学校（保健体育）、高等学校（保健体育）、特別支援学校の教員養成を行う学部です。

教育学部の教育目標は次のとおりです。

教育学部では、幅広い教養と教育に関する専門的な知識及び技能に基づき、未来を担う児童生徒の豊かな人間性、確かな学力、健やかな身体をはぐくみ、変化の激しい時代を生き抜く力を身につけさせることができる教員の養成を目標とし、以下のとおり定める。

- (1) 豊かな教養を修め、広い見識を持つ。
- (2) 教職に必要な基礎的・専門的知識と技能を身につける。
- (3) 児童生徒理解を踏まえた実践的な指導力を身につける。
- (4) 教育への熱意と使命感、責任感、学び続ける意欲を養う。
- (5) 豊かな人間性と社会性、倫理観を養う。

### 2 カリキュラムの構成

教育学部の授業科目は次の区分で構成し、基礎から専門を4年間で学びます。授業科目の受講は、学年やコースごとに指定していますので、履修登録に際しては注意してください。

#### 【科目区分】

- (1) [基礎科目] 総合教育科目、コミュニケーション科目、教職基礎科目、体育基礎科目、保健基礎科目
- (2) [専門科目] 教職専門科目、小学校教育・保健体育教育コース専門科目、特別支援教育科目、共通基礎科目、共通専門科目
- (3) [キャリア科目] キャリア科目



教育学部のカリキュラムは、教員として必要な知識や技術が修得できるよう、それぞれの科目が内容の濃いものとなっています。このため、予習や復習を行わないとついていけない場合がありますので、しっかり学習をするように心掛けてください。

※「教育実習A」のように科目名の後ろにつくA、B、Cは、Aは小学校、Bは中学校・高等学校（保健体育）、Cは特別支援教育に関する科目であることを表しています。

※「国語科概論Ⅰ」「国語科概論Ⅱ」のⅠ、Ⅱや「英語Ⅰa」「英語Ⅰb」のa、bは科目の順序性を示しています。Ⅰの科目とⅡの科目、aの科目とbの科目は前提科目ではありませんが、Ⅰ又はaの内容を修得していないとⅡ又はbの授業内容がわからなくなる場合がありますので、しっかり学習して修得するように心掛けてください。

(一部の科目は前提科目となっています。P95～P96参照)

※実習・実技科目及び外国語に関する科目の授業時間数は30時間の授業をもって1単位としています。

### 3 卒業要件

教育学部教育学科の卒業単位は124単位ですが、科目区分ごとの最低修得単位数も修得していなければなりません(コースにより単位数が異なります)。詳細は次のとおりですので注意してください。

・2019年度入学生

#### 【小学校教育コース】

科目区分		必修	選択必修	選択	コース必修	最低修得単位(以上)
基礎科目	総合教育科目	4	—	4	—	8
	コミュニケーション科目	4	—	2	—	6
	教職基礎科目	12	—	—	—	12
	体育基礎科目	8	1	—	—	9
	保健基礎科目	—	—	4	—	4
	計	28	1	10	—	39
専門科目	教職専門科目	4	8	—	—	12
	小学校教育コース専門科目	—	—	—	48	48
	保健体育教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	特別支援教育科目	—	—	—	—	—
	共通基礎科目	4	—	—	—	4
	共通専門科目	8	—	—	—	8
計	16	8	—	48	72	
基礎科目及び専門科目の選択科目から修得が必要な単位数		—	—	—	11	11
キャリア科目		2	—	—	—	2
卒業所要単位		124単位				

#### 【保健体育教育コース】

科目区分		必修	選択必修	選択	コース必修	最低修得単位(以上)
基礎科目	総合教育科目	4	—	4	—	8
	コミュニケーション科目	4	—	2	—	6
	教職基礎科目	12	—	—	—	12
	体育基礎科目	8	1	—	—	9
	保健基礎科目	—	—	4	—	4
	計	28	1	10	—	39
専門科目	教職専門科目	4	8	—	—	12
	小学校教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	保健体育教育コース専門科目	—	—	—	28	28
	特別支援教育科目	—	—	—	—	—
	共通基礎科目	4	—	—	—	4
	共通専門科目	8	—	—	—	8
計	16	8	—	28	52	
基礎科目及び専門科目の選択科目から修得が必要な単位数		—	—	—	31	31
キャリア科目		2	—	—	—	2
卒業所要単位		124単位				

・2018年度以前入学生

【小学校教育コース】

科目区分		必修	選択必修	選択	コース必修	最低修得単位 (以上)
基礎科目	総合教育科目	4	—	4	—	8
	コミュニケーション科目	4	—	2	—	6
	教職基礎科目	12	—	—	—	12
	体育基礎科目	8	1	—	—	9
	保健基礎科目	—	—	4	—	4
	計	28	1	10	—	39
専門科目	教職専門科目	—	12	—	—	12
	小学校教育コース専門科目	—	—	—	46	46
	保健体育教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	特別支援教育科目	—	—	—	—	—
	共通専門科目	8	—	—	—	8
	計	8	12	—	46	66
基礎科目及び専門科目の選択科目から 修得が必要な単位数		—	—	—	17	17
キャリア科目		2	—	—	—	2
卒業所要単位		124単位				

【保健体育教育コース】

科目区分		必修	選択必修	選択	コース必修	コース 選択必修	最低修得単位 (以上)
基礎科目	総合教育科目	4	—	4	—	—	8
	コミュニケーション科目	4	—	2	—	—	6
	教職基礎科目	12	—	—	—	—	12
	体育基礎科目	8	1	—	—	—	9
	保健基礎科目	—	—	4	—	—	4
	計	28	1	10	—	—	39
専門科目	教職専門科目	—	12	—	—	—	12
	小学校教育コース専門科目	—	—	—	—	—	—
	保健体育教育コース専門科目	—	—	—	24	2	26
	特別支援教育科目	—	—	—	—	—	—
	共通専門科目	8	—	—	—	—	8
	計	8	12	—	24	2	46
基礎科目及び専門科目の選択科目から 修得が必要な単位数		—	—	—	37		37
キャリア科目		2	—	—	—		2
卒業所要単位		124単位					

- (1) 卒業には次の2つの条件を充たしていることが必要となります。
- ① 本学に4年間在学していること(休学期間は含まれません)
  - ② 卒業に必要な単位数を修得していること
- (2) 卒業所要単位に含まれない科目は以下のとおりです。
- ・ 2019年度入学生  
「音楽実技」「書写実技」「図画工作実技」「学校インターンシップA」「学校インターンシップB」「学校インターンシップC」「キャリアデザインI」「キャリアデザインII」
  - ・ 2018年度以前入学生  
「ピアノ実技」「書写実技」「図画工作実技」「学校インターンシップA I」「学校インターンシップA II」「学校インターンシップB I」「学校インターンシップB II」「学校インターンシップC I」「学校インターンシップC II」「キャリアデザインI」「キャリアデザインII」

## 4 科目区分ごとの最低修得単位数

- (1) 基礎科目  
総合教育科目を8単位以上、コミュニケーション科目を6単位以上、教職基礎科目を12単位、体育基礎科目を9単位以上、保健基礎科目を4単位以上の計39単位以上が必要です。
- (2) 専門科目
- ・ 2019年度入学生  
教職専門科目12単位及び共通基礎科目、共通専門科目12単位を含め、小学校教育コースは72単位以上、保健体育教育コースは52単位以上が必要です。
  - ・ 2018年度以前入学生  
教職専門科目12単位及び共通専門科目8単位を含め、小学校教育コースは66単位以上、保健体育教育コースは46単位以上が必要です。
- (3) キャリア科目  
「学校インターンシップ」(2単位)は1年次必修です。

## 5 履修登録の上限

1年間に履修できる単位数の上限(CAP)は48単位ですので、履修登録にあたっては4年間の履修計画を立て、間違いの無いよう注意してください。

CAP対象外科目は以下のとおりですので、48単位を超えてこれらの科目は履修できます。

- ・ 2019年度入学生  
「音楽実技」「書写実技」「図画工作実技」「学校インターンシップ」「学校インターンシップA」「学校インターンシップB」「学校インターンシップC」「キャリアデザインI」「キャリアデザインII」「野外活動実習I(夏季)」「野外活動実習II(冬季)」「アダプテッド・スポーツ実習」「介護等体験(事前事後指導を含む)」「教育実習A」「教育実習B」「教育実習C」「教職実践演習(初等・中等)」「基礎演習I」「基礎演習II」「専門演習I」「専門演習II(卒業論文を含む)」
- ・ 2018年度以前入学生  
「ピアノ実技」「書写実技」「図画工作実技」「学校インターンシップ」「学校インターンシップA I」「学校インターンシップA II」「学校インターンシップB I」「学校インターンシップB II」「学校インターンシップC I」「学校インターンシップC II」「キャリアデザインI」「キャリアデザインII」

## 6 前提科目

科目を履修するにあたり、その前の学期までに既に単位を修得しているか、履修登録をしていなければ受講できない科目があり、これを前提科目といいます。

教育学部では次の科目に前提科目を設けていますので注意してください。変更、追加があれば別途

掲示いたします。

- (1) 中国語 b  
「中国語 a」を修得していること。
- (2) 手話 b  
「手話 a」を修得していること。
- (3) 「応用実技」の(陸上競技Ⅱ)、(水泳Ⅱ)、(器械運動Ⅱ)、(柔道Ⅱ)、(剣道Ⅱ)、(ダンスⅡ)  
それぞれ「体育実技」の(陸上競技Ⅰ)、(水泳Ⅰ)、(器械運動Ⅰ)、(柔道Ⅰ)、(剣道Ⅰ)、(ダンスⅠ)を修得していること。
- (4) 学校インターンシップ A、B、C、AⅠ、AⅡ、BⅠ、BⅡ、CⅠ、CⅡ  
「学校インターンシップ」を修得していること。
- (5) 学校インターンシップ C、CⅠ、CⅡ  
「知的障害者の心理・生理・病理」及び「肢体不自由者の心理・生理・病理」を修得していること。
- (6) 教育実習 A、B、C  
P106～P108 参照

## 7 GPA対象外科目

GPA (Grade Point Average) の対象外科目は以下のとおりです。

- ・ 2019年度入学生  
「音楽実技」「書写実技」「図画工作実技」「学校インターンシップ A」「学校インターンシップ B」「学校インターンシップ C」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「教育実習 A」「教育実習 B」「教育実習 C」「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ (卒業論文を含む)」
- ・ 2018年度以前入学生  
「ピアノ実技」「書写実技」「図画工作実技」「学校インターンシップ AⅠ」「学校インターンシップ AⅡ」「学校インターンシップ BⅠ」「学校インターンシップ BⅡ」「学校インターンシップ CⅠ」「学校インターンシップ CⅡ」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「教育実習 A」「教育実習 B」「教育実習 C」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ (卒業論文を含む)」

GPAは、学業優秀者表彰や、履修人数に制限がある科目の履修者選考の参考にする場合があるので、高い水準を獲得できるように努めてください。

## 8 副専攻免許

小中連携や中高一貫、通常学級での特別支援教育の必要性が課題になっている中で、教育学部は、両コースとも複数の免許が取得できることを特色のひとつにしている全国でも数少ない私立大学の学部です。

- (1) 小学校教育コース  
主専攻免許の小学校教育論一種免許状のほか、副専攻免許として中学校教諭一種免許状 (保健体育)・高等学校教諭一種免許状 (保健体育) 又は、特別支援学校教諭一種免許状 (知的障害者領域・肢体不自由者領域・病弱者領域 (身体虚弱者を含む。)) (以下「知・肢・病」という。) を取得することができます。
- (2) 保健体育教育コース  
主専攻免許の中学校教諭一種免許状 (保健体育)・高等学校教諭一種免許状 (保健体育) のほか、副専攻免許として特別支援学校教諭一種免許状 (知・肢・病) を取得することができます。
- (3) 受講の条件

### 【2019年度入学生】

副専攻免許科目の取得を希望する者は、2年次までに「教職論」「教育原論」「学校教育心理学」を含む講義科目を16単位以上修得した者に限り履修を許可します。

## 【2018年度以前入学生】

副専攻免許科目の取得を希望する者は、1年次において「教職論」「教育原論」「学校教育心理学」を含む講義科目を16単位以上修得した者に限り履修を許可します。

※副専攻免許を希望しない場合でも履修登録の上限内で教育実習B、Cを除く保健体育教育コース専門科目及び特別支援教育科目を履修することができます。

## 9 履修における留意事項

### (1) 出席の重要性

本学では、授業の出席状況を重視しています。全15回出席（通年科目の場合は30回）が原則ですが、欠席が多くなると単位を修得できないこともありますので注意してください。

### (2) 授業の欠席限度（成績評価の対象となる出席率）

教育学部では、小・中・高・特別支援学校の教員に必要な知識及び指導法等の修得を目的とし、1回1回の授業が教員になるために必要な内容となっています。

このため成績評価では、出席状況を重視するとともに、授業だけでなく、実技ノートの作成や、予習・復習にも積極的に取り組み、意欲的に学ぶことが重要ですので、つぎの事項に十分留意してください。

①単位修得に必要な出席率は実施授業回数の80%以上としています。

各学期（前期・後期）で80%を下回った時、直ちに授業担当教員のもとに出向き、指示を受けてください。

②遅刻・早退・見学は次のとおりとします。

遅刻・・・授業開始後20分までを遅刻として取扱い、0.5の出席とする。

それ以降の受講は認めない。

早退・・・0.5の出席とする。

見学・・・0.5の出席とする。（長期の場合は診断書を提出すること）

### (3) その他の理由により履修が困難な場合

心身の状態により、履修不可能な状態となった場合は、教育学部教務担当まで相談に来てください。

### (4) 授業時に服装を指定されている場合は必ず着用してください。他の服装の場合は、授業担当教員の許可を得てください。

## 10 試験

試験については第1部（大阪体育大学学修要領）に記載していますが、定期試験期間以外に授業内で行う小テストやレポートなどがありますので、やむを得ず欠席した場合には担当教員に相談し、指導を受けるようにしてください。

教育学部では、小・中・高・特別支援学校教員に必要な知識や技能を確実に修得する趣旨から、体育学部で行っている「再試験」は行いません。このため、日常からしっかり学習するよう心掛けてください。

### (1) 追試験

定期試験及び授業内試験を受験できなかった場合、次の各号に該当する場合は教授会の承認を得たうえで追試験を受けることができます。

①2親等以内の親族の死亡（父母、祖父母、兄弟姉妹）

②病気・ケガにより受験できなかった者

③教授会が許可した実習、研修会及び競技会等にレギュラーメンバー及び役員として出場する者

④その他やむを得ない事由により受験できなかった者

追試験を受けようとする者は、事前に次の書類を添えた「追試験願」を教育学部教務担当に提出してください。ただし、やむを得ない時は試験終了後、10日以内に教育学部教務担当に提出し

てください。

- ①の場合は担任教員の事由承認印のあるもの
- ②の場合は医師の診断書のあるもの
- ③の場合は部長又は監督の承認印のあるもの
- ④の場合は担任教員の事由承認印のあるもの

## 11 年間15単位未満修得者の取扱

教育学部では、進級条件は設けていません。学業不振の場合、学則第35条第6号で「当該年度に履修した授業科目につき15単位以上を修得できない者は、除籍する」と規定していますが、教育学部では次のとおり取り扱いますので注意してください。

### (1) 1、2年次生

- ①学年終了時に15単位以上を修得できない場合、当該学生並びに保証人あてに「除籍警告書」の文書を送付します。
- ②「除籍警告書」を受け取った学生は、学修を継続する意思がある場合、指定する日までに本人と保証人連署の「誓約書」を作成した上、クラス担任に「誓約書」を提出し、クラス担任の面談を受けてください。
- ③面談の結果、クラス担任が学修継続を確認した上、教務委員会が履修継続を承認した場合は、学修を継続することができます。
- ④「誓約書」を提出しない場合は、学則の規定に則り除籍手続を行います。

### (2) 3年次生

1、2年次生と同様に取り扱います。

「誓約書」の提出及び面談者は「専門演習Ⅰ」の担当教員とします。

### (3) 4年次生

15単位以上修得できない場合の除籍規定の適用は、原則として行いません。

## 12 自習室、音楽練習室・ピアノ自習室等の利用について

- (1) P号館（P002、P004、P503）に自習室を設置していますので、積極的に利用してください。
- (2) P号館地下に電子ピアノを配置した音楽練習室（P003）を設置しています。担当教員による使用講習会を受講し、使用許可証を携行の上利用してください。
- (3) C号館1階にピアノ自習室（C104）を6室設けていますので、希望する学生は教学部教務担当に申し込んでください。

※各室ごとに利用時間等が異なりますので注意してください。

### 13 履修登録の方法

履修登録の方法には、次の2つがありますので注意してください。

- (1) 時間割表を読み、受講する科目を自分でWeb登録するもの  
 教学部教務担当が登録する科目以外はすべて自分でWEB登録します。
- (2) クラス・グループ指定科目等で教学部が入力するもの  
 1年次必修の「言語活動」「英語Ⅰa」「英語Ⅰb」「基礎体育Ⅰ」「基礎体育Ⅱ」「情報処理Ⅰ」「情報処理Ⅱ」、2年次必修の「英語Ⅱa」「英語Ⅱb」、小学校教育コースの各科概論（Ⅰ・Ⅱ）及び各科教育法、その他実技科目などは、あらかじめ教学部で入力しますので注意してください。  
 なお、履修登録単位数が上限に達していたり、同じ時間帯に他科目を登録するとエラーになります。

(登録の際に注意が必要な科目)

	科目	配当年次	備考	
講 義	言語活動	1年次配当	指定（教学部教務担当入力）	
	情報処理Ⅰ			
	情報処理Ⅱ			
	英語Ⅰa			
	英語Ⅰb			
	各科概論（Ⅰ・Ⅱ）	1・2年次配当		
	各科教育法	2・3年次配当		
	英語Ⅱa	2年次配当		
	英語Ⅱb			
実 技	基礎体育Ⅰ	1年次配当	指定（教学部教務担当入力）	
	基礎体育Ⅱ			
	体育実技（陸上競技Ⅰ）			
	体育実技（水泳Ⅰ）			
	体育実技（器械運動Ⅰ）			
	体育実技（柔道Ⅰ）			
	体育実技（剣道Ⅰ）			
	応用実技（陸上競技Ⅱ）	事前に履修希望調査を実施 （教学部教務担当入力）		
	応用実技（水泳Ⅱ）			
	応用実技（器械運動Ⅱ）			
	体育実技（ダンスⅠ）		2年次配当	指定（教学部教務担当入力）
	球技（バレーボール）			
	球技（バスケットボール）			
	応用実技（柔道Ⅱ）			
	応用実技（剣道Ⅱ）			
応用実技（ダンスⅡ）	事前に履修希望調査を実施 （教学部教務担当入力）			

\*上記は変更になることがあります。

※教学部教務担当で履修登録（追加・変更・取消）した科目について、その内容が反映されているかをポータルサイトで必ず確認してください。

もし、反映されていない場合は、早急に教学部教務担当まで確認に来るようにしてください。